

8-1-8 広報戦略委員会

1. 広報戦略委員会の概要

建設コンサルタントは、国内外の社会資本整備・維持の中で重要な役割を果たしてきている。しかしながら、その役割・存在価値は国民に十分に周知理解されていないのが現状と言える。

業界の担い手確保という観点から、優秀な若者が興味と期待を持って活躍できる活性化した産業として建設コンサルタントが認知されるためには、「安全・安心」「経済活動」「快適な暮らし」を支える基盤づくり、明るい未来社会のための基盤づくりを担う産業であることを多くの方々に理解していただくための工夫が必要である。

そのため、社会インフラの意義と必要性、建設コンサルタントの役割・存在価値について、情報発信や広報活動を効果的かつ戦略的に行うことがこれまで以上に重要であり、協会としての戦略的な広報を実践するために、協会会員企業における個別の企業広報活動と協力しながら、国、関連業界、学会等の広報活動の取組みとの連携や、各団体での役割分担などに配慮して、近年、利用が拡大している SNS 等の技術活用を含めた効果的な広報のあり方を整理し、取組みを進める必要がある。

社会インフラをハード・ソフトの両面から支える建設コンサルタントの持続的な発展に向けて、広報戦略委員会は「建設コンサルタント(業界)」の存在を社会に知らしめることを基本理念に、「人材の確保」「選択と集中」「適切な役割分担」を活動方針として定め、広報活動を実践している。

2. 主な活動の記録

令和 7 年度の広報戦略委員会は、7 月と 1 月の計 2 回開催した。

(1) 第 1 回広報戦略委員会 (7 月 15 日開催)

本委員会では、以下の事項について報告・意見交換を行った。

- ①3 つの専門委員会（広報専門委員会、広報事業専門委員会、会誌編集専門委員会）の令和 6 年度の活動内容を確認した。

- ②3 専門委員会の令和 7 年度の事業計画ならびに活動状況を確認した。

- ③令和 7 年度に新たに設置された「建設コンサルタントの地位向上検討委員会」の概要（体制、主な検討内容、活動期間、役割分担）を共有した。

- ④協会の広報活動に関する意見交換を行った。

- ・(株)長大で作成した『うんこ啓発ドリル「計画と設計」』の紹介
- ・近畿支部で兵庫県の中学生を対象に開催（建コン協、国交省、ゼネコン共催）するトライアルウィーク（インターンシップのようなもの）の紹介

(2) 第 2 回広報戦略委員会 (1 月 20 日開催)

本委員会では、以下の事項について報告・意見交換を行った。

- ①3 専門委員会の令和 7 年度の活動内容を確認した。

- ②3 専門委員会の令和 8 年度の事業計画を確認した。

- ③建設コンサルタントの地位向上検討委員会において広報戦略委員会から提案している認知度調査の内容について共有した。

- ④協会の広報活動に関する意見交換を行った。

- ・会誌の現地取材時に撮影している動画の公開方法の協議
- ・協会ホームページのアクセス数の確認
- ・MX テレビで放映している「ももいろインフラZ」とコラボレーションの提案
- ・NPO 法人「あすの夢土木」主催の「今、バズる土木動画コンテスト」で、若手の会が製作した動画が最優秀賞を受賞したことの紹介

(広報戦略委員会委員長 野本 昌弘)